「浜松花と緑の祭２０１７」へ参加（実施報告）

（１）　日時

平成２９年１０月１４日（土）１０：００～１６：００

１５日（日）　９：００～１６：００

（２）　場所

浜松市内アクト通り及び東ふれあい公園

（３）　参加インストラクター

内山（両日）、廣野（１４日）、藤田（両日）、サポーター（両日３人）

（４）　参加の概要　＜添付写真１、写真２＞

会場は全体で５２のブースが出展。１４日は曇りのち小雨、１５日は一日中小雨という悪天候の中ではあったが、この祭を楽しみにしている人も多く、当会のブースも、両日で１９０人の参加者があり、昨年の約１割減と（昨年は２０７人）、まずまずの入込であった。当会の出展内容と参加者数は次のとおり。

① 木の実の展示と木の実クイズ	４８人
② 木のクラフトづくり	６０人
③ 木のコマづくりとタイムトライアル	８２人
合　　計	１９０人

（５）出展内容ごとの実施状況

①　木の実の展示と木の実クイズ　＜添付写真３＞

木の実クイズは、１２枚の樹木の写真を掲示してその樹木の名前を書いてもらい、合わせて、展示した木の実の中からその樹木に付く木の実を探してもらう、というもの。今年も昨年と同様、１２種類の写真・木の実を展示。親子で挑戦する家族など、子どもから、お爺さん・お婆さんまでの幅広い年齢層から参加してもらうことができた。

②　木のクラフトづくり　＜添付写真４＞

今年のメニューは、「パズルクラフト」を４種類、「板を使ったクラフト」を３種類準備した。木工ボンドで部材を張り付けるだけでできるようにしてあるので、３歳くらいから小学校１年生くらいまでの子どもは親御さんといっしょに、２年生くらい以上は一人で、クラフトづくりを楽しんでもらった。なお、「パズルクラフト」とは、広野さん考案の、「天然木の薄い輪切り材を分割破断し、それを余すことなく組み合わせて、動物などを作るクラフト」。

③　木のコマづくりとタイムトライアル　＜添付写真５＞

コマづくりは、市販の米ヒバ丸棒（太さ３５ｍｍ）を厚さ１５ｍｍで輪切りしてその中心に６ｍｍの穴をあけた円盤と、市販のヒノキ丸棒（太さ６ｍｍ）を長さ５ｃｍに切った芯棒を用意し、参加者はこの円盤にマーカーで着色し芯棒を差し込んで仕上げる。今年は昨年を上回る参加者があり、テントの中でタイムトライアルもでき盛況であった。

（藤田　記）

◆添付写真

＜写真１＞　会場風景

＜写真２＞　当会のブース

＜写真３＞　木の実の展示と木の実クイズ

＜写真４＞　木のクラフトづくり

＜写真５＞　木のコマづくりとタイムトライアル

以上